

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道整備交付金事業			
予算科目	8 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 小西 洋三	
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	地域再生計画(道整備交付金)			
事業の必要性	現在、満野集落では大型車両の進入が出来ない為、これを通行可能にし利便性の向上を図りたい。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負施行		【施工場所】 伊予市双海町串	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	幹線道路の整備を行い、地域間のアクセス改善を図る。			
事業の内容	市道満野法師線バイパス新設 L=1005m W=5.0m			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	工法・効率等を考慮した工事発注及び施工管理を行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	123,883	323,700	61,110	218,480
	人件費	4,067	5,567	5,567	5,561
	合計	0	329,267	66,677	224,041
人件費 内訳	人工数	0.50	0.70	0.70	0.70
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,945
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,067	5,567	5,567	5,561
財源内訳	国庫支出金	61,800	160,200	0	108,610
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	37,600	155,200	0	102,100
	その他	0	0	0	0
	一般財源	28,550	13,867	66,677	13,331

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
市道満野法師線バイパス	660,926	218,480	105,189				
年度別事業費		218,480	105,189				
財 源	国・県支出金	108,610	51,590				
	地方債	102,100	53,100				
	その他						
	一般財源		7,770	499			
国・県支出金等名称	道整備交付金						

成果指標				
成果指標	当該年度実績数量(延長)÷当該年度計画数量=進捗率103.0m÷103.0m=100%			
指標設定の考え方	当該年度の実績率により事業進捗率を算出、進捗率を上げることにより早期的な事業効果を上げる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	不足土が生じるため、他工事から発生する残土を積極的に受け入れ、事業効率の増大とコスト縮減に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	26年度事業費分が繰越されて27年度末での完了で全線が開通することになる。27年度が最終年度であるため補助対象事業費=精算事業費になるように努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題